

世界科学アカデミー会議の前後に開催された IAP 関連会議

1 IAP Steering Committee (SC)

- (1) 日 時 平成 12 年 5 月 14 日 (日) 16:10 ~ 19:30
- (2) 場 所 ホテルニューオータニ悠の間
- (3) 出席者 (日本)吉川会長、佐々木副会長、大橋会員、大瀧会員、古田会員、木谷会員、高石会員
- (4) 主な議題 世界的に重要な政策案件に関する科学的な助言・勧告を、要請する機関・政府に対して提供することを目的として、インターアカデミーカウンスル (IAC) を発足させることとした。引き続いて、IAC 共同委員長の選出など、下記の表における IAC に関する事項について審議、決定した。

2 Future of IAP

- (1) 日 時 平成 12 年 5 月 19 日 (金) 9:10 ~ 13:30
- (2) 場 所 日本学術会議講堂
- (3) 出席者 (日本)吉川会長、佐々木副会長、柏崎副会長、大瀧会員、古田会員
- (4) 主な議題 IAP 共同委員長の入れ替えなど、下記の表における IAP に関する事項について審議、決定した。

審議事項 (注 国等の名前は、当該国の科学アカデミーを指す)

	IAC	IAP
共同委員長 (Co-Chair) < 決定 >	任期 5 年 Prof. Bruce Alberts (アメリカ) Prof. Goverdhan Mehta (インド) Board メンバーから選出	Prof. Yves Quere (フランス) Dr. Eduardo Krieger (ブラジル)
理事会 (Executive Committee / Board) < 決定 >	Board (任期 5 年) (15 カ国 + オブザーバ) ブラジル、中国、フランス、 ドイツ、インド、イスラエル、 日本、マレーシア、メキシコ、 ロシア、南アフリカ、スウェーデン、 第三世界、イギリス、アメリカ オブザーバ：オランダ (IAC Sec)、 IAP Co-chair のうち 1 人、 ICSU	Executive Committee (任期 3 年) (7 カ国 + オブザーバ) 共同委員長：ブラジル、フランス 途上国：カリブ、中国、インド 先進国：イギリス、スウェーデン オブザーバ：Prof. Bruce Alberts (IAC Co-Chair)、 第三世界
事務局 Secretariat < 決定 >	オランダ	第三世界 (イタリア・トリエステ)
定款 < 方向性 >	IAC の運営は IAC Board で、 IAC の会員資格は IAP-SC で、 後日修正する。	6 ~ 7 月頃にパリで会合を行い、 10 ~ 11 月頃に各国に原案提示予定
次回会合 < 方向性 >	未定 (参考 9 月国連ミレニアム総会)	6 ~ 7 月パリ